

森六が新中計

柔軟性と利益追求で成長

27年度にROE6%超

森六は、2027年度を最終年度とする「第14次中期経営計画」を策定した。基本方針として「アジアリテイリングで未来を拓くー柔軟性と利益追求で成長を加速するー」を掲げており、基本戦略として「主力事業の更なる利益追求」「将来の製品化に向けた開発の推進」「事業シナジーによる新たな価値創造」「事業基盤の更なる強化」を設定している。業績目標として、初年度となる25年度に営業利益50億円、自己資本利益率(ROE)5.0%以上、27年度には営業利益伸長率で初年度比110%以上、ROE6.0%以上の達成を目指す。

差別化品や事業シナジー発揮も

今回策定した中計では、変化に敏捷かつ柔軟に対応するアジアリテイリングを通じて、組織の適応力と競争力を高める考え。また強固な事業基盤の下、成長が見込まれる分野への重点投資と事業構造の高度化を推進するとともに、事業戦略とコーポレート機能戦略を一体的に展開し、2035年長期ビジョンの達成を目指すとしている。

基本戦略の4テーマの中で、主力事業のさらなる利益追求では、グローバル市場拡大と新規顧客獲得による利益拡大、製品・商材ポートフォリオの確立による利益拡大、生産技術開発と高効率生産による環境負荷軽減と利益拡大を図る。

将来の製品化に向けた開発の推進では、ものづくり強化による差別化および独自性、付加価値の高い製品開発に努める。

事業シナジーによる新たな価値創造では、シナジーを生かした事業領域の拡大と利益性の追求、積極的な出資や事業提携による新たな価値創造のスピードアップに注力する。

事業基盤のさらなる強化では、コーポレート機能戦略と事業戦略の統合やサステナビリティ経営の深化、国籍や性別を超えた多様な人材力の最大化を目指す。

これらの基本戦略の通り、樹脂加工製品事業では、成長分野の収益

化加速と新たなビジネスモデルの創出による事業成長基盤構築を進めている。

顧客・部品領域では、顧客ポートフォリオの拡充と部品ポートフォリオの拡大に注力する。地域領域では北米地域の利益拡大とアジア地域の再構築を進める。開発領域では新機種採用に向けた開発強化、環境負荷軽減製品の開発、収益性に資する製品開発を行っている。

またケミカル事業では、同領域において営業利益を追求するグローバル企業となることを目指す。またケミカル事業では、同領域において営業利益を追求するグローバル企業となることを目指す。またケミカル事業では、同領域において営業利益を追求するグローバル企業となることを目指す。